

「解答・解答例等」「出題の意図」

選抜区分	2026年度（選抜区分：総合型選抜） 外国語学部 英米学科（科目名：英語）
<p data-bbox="220 367 357 398">【1 次試験】</p> <p data-bbox="204 461 1409 678">1 次試験は、模擬的に大学の授業を受講してもらい、授業についていくことができるか、その上で、授業で学んだことを正確に理解し、それについて自分の意見を表現できるかを問う試験である。</p> <p data-bbox="204 786 293 817">問題 1.</p> <p data-bbox="220 880 389 911">【出題の意図】</p> <p data-bbox="204 974 1409 1469">・ 模擬授業で用いられたテキストは、BBC Website の “Writing Film: Film Scripts Are Written to be Produced as Drama Rather Than Read as Literature” と BBC Website の “Writing TV Drama: It’s Important to Know Your Market” の内容を一部変更して抜粋したものである。受験者にとっての難語や理解困難な言い回しも散見されるが、これらについては、模擬授業の中で講師が解説するので、それを手助けに英文を英語で読解していくことの醍醐味を味わってほしい。英米学科に入学後は、こうした形態の授業が中心となっていくからである。</p> <p data-bbox="220 1576 389 1608">【求める能力】</p> <p data-bbox="204 1671 1409 1982">・ 問題 1 では、模擬授業で用いたテキストの要約が求められる。ただし、設問の中に記されているように、テキストに記されている重要点を網羅しているだけでは不十分であり、講師が講義の中で解き明かした内容や、自身の見解として述べたものについても言及したものでなければならない。テキストの読解力、講師の英語の講義を聞きとり理解する聴解力、そしてそれら</p>	

をもとに主題を把握し、まとめていく表現力の3つの能力を 同時にはかる問題である。

【解説】 ・要約ではテキストの内容と講師の説明の両方を踏まえて作成することが求められる。

テキストのみを適切にまとめていても講師の説明が含まれていない場合、また講師の講義内容のみについて言及しテキストの内容が十分に取り入れられていない場合は評価が低くなる可能性がある。さらに、自分の意見を中心に述べている場合も減点対象となるため、これらの点を考慮しながら要約を行うことが望ましい。

問題 2.

【出題の意図】

・問題 1 においてテキストおよび講義の内容の理解度を見た。この問題 2 は、テキスト及び講義で問いかけられたポイントについて、受験者の見解 を問うものである。

【求める能力】

・問題文に対し、説得力を持って自分の意見を展開できる英語表現力がはかれる。論旨は論理的に説明され、書かれた内容はすべて問題に直結していなければならない。

【解説】

・英語による小論文であるので、語法面も当然チェックする。ただし、あまりにも些末な間違いによって大きく減点をするという姿勢ではなく、文章が読者に説得力をもって迫ってくるかということが、より重要ポイントとなっている。

・2026年度の問題では、映画の脚本とテレビドラマの脚本がどのようなことに注意して書か

れるかについて考察し、論じることが問われた。ふさわしい解答が多くみられたが、受験者によっては、次のようなことが難しかったと思われる：

- (1) 提案された意見に対して論理的な理由を述べること
- (2) 文脈に適した語彙を選ぶこと
- (3) 適切な動詞の時制の選択
- (4) 不定冠詞／定冠詞の選択

【解答のためのアドバイス】

- (1) 問題文の要求に即した文章を作成すること。その点に集中し、周辺的な問題に惑わされたり、中心から離れたりしないようにすること。
- (2) 論理的に構成すること。自分の立場を明確にし、そのための根拠や例をきちんと示すこと。課題文から引用したいときは、そのままではなく要約して言い換えると語数を節約することができる。
- (3) 決められた語数を超えないこと。しかし必要な語数の目安として示されているものなので、決められた語数内でできるだけ多くの語を用いて文章を作成することをお勧めする。
- (4) 文法の間違いは少ないほうが好ましい。また語句を適切に選択することは重要である。

【2 次試験】

2 次試験は実際に面接官と質疑応答形式のディスカッションを行い、コミュニケーション能力を問う試験である。

【出題の意図】

- ・初めに 1 次試験の模擬授業について簡単に振り返り、必要に応じて質疑応答を行う。
- ・標準的なレベルの英語による会話を行う。

【求める能力】

・英語を用いて実際にコミュニケーションを行なう能力を問う。聞き取れないときでも、問い直しをするなど、途切れなく会話を行なうことができ、自らも積極的に意見を述べることができるか、など、総合的なコミュニケーション能力を有する人材を求めている。

・2026年度の面接では全体的に、質問には迷うことなく的確に答えていた。しかし、一部の受験者は、事前に準備した台詞に大きく依存しているようだった。そのため、いくつかの面接では不自然に感じられる部分があった。事前に用意した文章によらず、自然な英語で答えられた人とそうでない人との差が大きく出た。

改善点は以下の通り：

- (1) 自分の言葉で具体的な内容を含めた上で応答すること
- (2) 質問に対する自分の考えを論理的に述べること
- (3) 語彙選択の正確さ／語彙の多様性